

## 第13回懇談会における各委員からの主な指摘事項

### 1. 緊急地震速報関連

- 予知と緊急地震速報の違いについての認識を更に深めるため、緊急地震速報が予知ではないという周知が更に必要。
- 緊急地震速報が発表されて、地震が発生するまでの時間は数秒程度と短いことから、適切な行動を取ることが重要。
- 現在は住宅火災が多く、死亡者の多くが高齢者となっている状況にあり、住宅への火災警報器の設置が義務付けられているところである。予防という観点から官民一体となって取り組むことが必要。
- 緊急地震速報への信頼性を高めるためにも、技術的観点から予測震度等に係る誤差を小さくしていくことが重要。

### 2. 新型インフルエンザ対策関連

- 新型インフルエンザが流行しだしてから十分な量のワクチンを用意するまでには一定の時間を要することが課題。
- 実際の対応においては、救急搬送、医師、看護師などの十分な人員体制を確保できるか否かが重要であり、訓練等を通じて現状を把握することが重要。
- 新型インフルエンザの初期段階での封じ込めにはサーベイランスや疫学調査が必要であり、今後これらの能力を向上させていくことが重要。

### 3. その他（国民保護訓練関連）

- 国民保護訓練のようなデモンストレーションが、国民に国民保護を実感してもらう上で有効である。訓練を通じた啓発が重要。
- できるだけ多くの一般市民に国民保護訓練に参加していただくことが重要。

以上